

防災性能 (表面フラッシュ)

よもやよもや…火災ややけどのキケンが…

表面フラッシュ現象とは

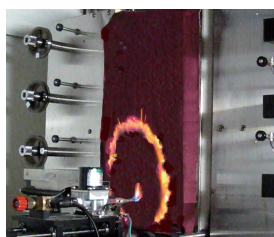
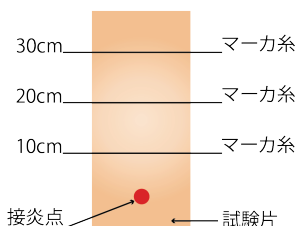
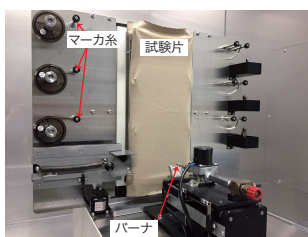
表面フラッシュとは、一部に触れた火が生地の表面を走り、短時間で衣料品の表面に炎が広がる現象です。

コロナ禍の影響から、家庭内で料理、アウトドアでのキャンプの焚火やバーベキューなど、火を使う機会が増えています。特に冬場は乾燥しており、セルロース系を多く含む起毛製品等については、表面フラッシュの事故が起こるケースが発生しています。



試験方法 表面フラッシュ燃焼性試験 (JIS L 1917)

乾燥処理した試験片 (40cm×20cm) を毛羽方向と反対向きに3回ブラッシング後、試験装置に毛羽方向を下にして取り付ける。バーナーにより試験片の下部表面に0.5秒間接炎させる。接炎から表面フラッシュの先端が10cm、20cm、30cmの各位置に伝播し、マーカ糸が切断するまでに要した時間 (s) を計測する。



1分半でわかる
試験方法と概要
ビデオはこちら

<https://www.youtube.com/watch?v=ICbOFJY5ckA>

評価方法 (一社) 繊維評価技術協議会による

評価区分	測定結果
1. 表面フラッシュなし	表面フラッシュ炎がマーカ糸取付位置10cmまで到達しない
2. 表面フラッシュあり ※	1. 表面フラッシュ炎がマーカ糸取付位置10cmまでは到達するが、20cmまで達しない 2. 表面フラッシュ炎がマーカ糸取付位置20cmに1秒間かかって到達する
3. 表面フラッシュ著しい	表面フラッシュ炎がマーカ糸取付位置20cm1秒未満で到達する

※ 「表面に毛羽があるため、炎を近づけると火が走る場合があります。」
「着用に際してはガスレンジの炎やライターの炎等に近づかないようご注意ください。」
などの付記用語をつけてください。

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

東京試験センター

〒135-0001
東京都江東区毛利1丁目12番1号
TEL 03-5669-1380

大阪試験センター

〒552-0021
大阪市港区築港1丁目6番24号
TEL 06-6577-0200

岡山試験センター

〒700-0936
岡山市北区富田422-1
TEL 086-231-2700

@boken1948

試験動画や豆知識など役立つ情報を発信しています！
みなさまのフォローお待ちしております！

